

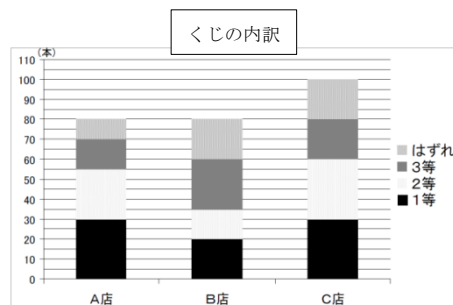
単元名 比べ方を考えよう・割合をグラフに表そう (大日本図書)

目指す児童の姿

- ・基準量と比較量を基に、割合の大小の判断ができる。
- ・資料から課題解決に必要な情報を読み取り、割合の考え方をを使って説明することができる。

指導例 資料の数学的な解釈と判断の根拠の説明ができるために

- 1 くじ引きの中身を表す棒グラフからわかることを考える。
- 2 1等くじが出やすいのは、どの店か考える。
- 3 2等くじが出やすいのは、どの店か考える。
- 4 結果について発表し、割合で表すことのよさについて確認する。



指導計画

時間	ねらい・学習活動
1	全体と部分の関係をとらえることを理解する。 ・試合数も勝った回数も異なるチームのうち、よい成績をおさめたチームはどこか、その比べ方を考える。
2	割合の意味を理解する。 ・前時の結果を通して、割合の意味とそれを求める式を導き出す。
3	百分率の意味や表し方について理解する。 ・求めた割合を百分率を用いて表す。
4	歩合の意味や表し方について理解する。 ・求めた割合を歩合で表す。
5	割合が1より大きくなる場面を考える。 ・割合が1より大きい場合に、その割合を百分率で表す。
6	比べる量の求め方を考える。 ・比べる量 = もとにする量 × 割合
7	もとにする量の求め方を考える。 ・ $\square \times \text{割合} = \text{比べる量}$ もとにする量 = 比べる量 ÷ 割合
8	和や差を含んだ割合の比べる量の求め方を考える。 ・定価の25%引きの代金を求める。
9	和や差を含んだ割合のもとにする量の求め方を考える。 ・40%引きの代金が1800円のと看、定価を求める。
10	1～9時に学習したことを活用して問題を解く。 ・割合を使った問題に取り組む。
11	帯グラフと円グラフの特徴や読み方を理解する。 ・資料の全体と部分、部分と部分の関係を調べ、特徴をとらえる。
12	帯グラフと円グラフに表す。 ・資料全体に対する各部分の割合を求めて、帯グラフや円グラフをかく。
13	いろいろなグラフの特徴や表し方の工夫をまとめる。 ・棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフの表し方の工夫をとらえ、目的に応じて資料をそれぞれのグラフで表す。
14	第11～13時に学習したことを活用して問題を解く。 ・資料を帯グラフや円グラフに表す。
15 本時	第1～14時に学習したことを活用して問題を解く。 ・割合の考え方をを使って問題を解決する。

指導のポイント

- ◇資料の全体と部分、部分と部分の関係を、割合を用いて考察させる。
- ◇棒グラフで見ただけでははっきりわからない「〇等の出やすさ」は、割合を用いて表すことではっきり比べることができることを実感させる。
- ◇線分図をかいて、自分で解き方を見つけたり、考え方を説明させたりする。
- ◇前時までの学習の足あとを掲示しておき、本時の課題を解決していく見通しがもてるようにする。